

後方羊蹄山&ニセコアンヌプリ山行報告

【山行日】 2015年 7月 17~20日(金~月)

【集 合】 野木町石田宅 AM 4:00

【費 用】 マイカー1台 : 78,000円

【メンバー】 CL:鈴木 大西、石田、関、
福田、藤原、渡辺

17日 晴れ 羽田空港から千歳空港へ飛び、
お花畑登山口からニセコ山頂へ登る

野木町石田宅 4:00=OK パーキング 5:20=羽田空港

5:40/6:30→千歳空港 8:30=レンタカー8:40/9:20=

お花畑登山口 P11:40/11:50~ニセコ山頂 13:50/14:10

~お花畑登山口 P16:00=ペンション「ふう」17:00

台風の動きが北海道まで影響するとは思いかけず、日程の変更を視野に入れての出発となった。心配した雨は無くスムーズに車に乗り込み羽田のパーキングに着いた。



そこで身支度を整えて空港へ行き、手続きをすませ朝食をとって機上に乗ら込んだ。

6時半に出発し2時間弱で北海道の土を踏んだ。

飛行機は早いと感心しながらレンタカーを……

スムーズにいくはずなのに、私の手違いで5人乗りを手配していた。まさか！すぐ車をと頼んだが7人乗りは無く、2台で走る事となって皆さんへご迷惑をお掛けしてしまいました。

青空の暑い日差しを受け3日目に登るニセコアンヌプリへの登山に変更した。

五色温泉Pから急いで準備をして、キャンプ場脇の登

山口から登り出した。

今日は涼しいはずの北海道でも、快晴の天気の日差しが強くとても暑いです。

日陰になっている道を選びながら歩くが“暑い”“暑~い”と口からこぼれてしまう。

暑い登山道でも、チシマフウロ・エゾカンゾウ・ハクサンチドリ・タニウツギ等が目を楽しませてくれた。

500mごとの標識を楽しみにし、時折風が涼しく吹いてくれると生き返る。

途中くたもの休憩をとり、ジグザグとしたたる汗を拭



きながら山頂に向かった。

最後は細い尾根をゆるやかに登るようになり、エゾカンゾウの花の中を登ると山頂に出た。

山頂からは、360度の眺望が得られ、明日登る予定の羊蹄山が目の前に聳えていた。

風格のあるコニーデ型の素晴らしい山である。「この山に登るのか。」と明日が楽しみである。

山頂で写真を撮り、景色を楽しみながら巨峰を戴き休憩後下山する。

今日泊まるペンション「ふう」はすぐ近くだ。ペンションに着き、汗を流してから夕食をいただく。オーナー手作りのお料理を、美味しく戴き明日の羊蹄山登山に備えて早めに床に就いた。

大西記

18日 曇り時々雨 真狩登山口から後方羊蹄山に登り比羅夫登山口へ下山

ペンション「ふう」5:00＝比羅夫登山口 P5:15＝真狩登山口 5:35/5:50～6合目 8:50～9合目 10:00～火口ピーク 10:40～京極コース分岐 11:10～山頂 11:20～京極コース分岐 11:30/11:50～比羅夫9合目 12:20～6合目 13:30～比羅夫登山口 15:10/15:30＝温泉『ゆころ』16:00/16:45＝ペンション「ふう」17:00

今年最後の目標となる北海道羊蹄山、蝦夷富士とも呼ばれ独立峰でどこからみても(富士山と似ているので)ひと目でわかるそうです。



今回、倶知安コースと真狩コースの2班に分けて登り、倶知安コース9合目で合流する計画です。

私たち3人は真狩登山口からのスタート。真狩登山口は、キャンプ場になっておりとても広大で、もちろんきれいなトイレも有ります。真狩登山口を5時50分出発。1合目2合目……7合目と看板を目安に確実に進む。ところどころで眼下に町並みを見ることもできた。

7合目で休憩中に、B班からTELが入り、B班は5合目で登頂を断念し下山するとの事。8合目の先に、あたり一面にイワブクロが群生している斜面が有、そこにシマリスがちよこちよ顔を出す。なんと自然を絵に書いたような風景でしょう。

少し行くとクルマユリが色鮮やかに咲いている。右をみても左をみてもお花畑である。羊蹄避難小屋が左手奥の方に見えてきた。その小屋も9合目頃にはエゾカンゾウの中に浮かぶ小屋となり、色鮮やかな車ユリも目を引く。9合目から、火山礫の急登を30分登り大火口の一角に登り着く。山頂は、ここから火口のちょうど反対側になる。大火口の縁を、時計回りに歩くことにする。旧避難小屋跡(シマリスがまたもやちよこちよ現れる)を過ぎ中間地点へ到着。Wさんは荷物の見張り番をすることになり、水とレインウェア上着を持ちS氏と私は登頂を目指すことに。マークの

付いた岩を目印にどんどん頂上を目指す。岩場は急であるが何とか一等三角点に着きタッチ、羊蹄山山頂はすぐそこ。着いた、ついに登頂しました。感無量の1898m頂上。記念写真を何枚か撮ってもらい、早々にもと来た登山道を下りあつという間にWさんの待つ中間地点へ。各持っていたおにぎりパンなどで昼食を済ませ倶知安コースを下ることに。・・合目の看板を9、8・・合目と下り雨が降り始めたので5合目あたりでレインウェア上を着、S氏は傘。足場の悪い泥んこ道をどんどん下りやっとの思いで皆さんの待つPへ到着。そこに

付いた岩を目印にどんどん頂上を目指す。岩場は急であるが何とか一等三角点に着きタッチ、羊蹄山山頂はすぐそこ。着いた、ついに登頂しました。感無量の1898m頂上。記念写真を何枚か撮ってもらい、早々にもと来た登山道を下りあつという間にWさんの待つ中間地点へ。各持っていたおにぎりパンなどで昼食を済ませ倶知安コースを下ることに。・・合目の看板を9、8・・合目と下り雨が降り始めたので5合目あたりでレインウェア上を着、S氏は傘。足場の悪い泥んこ道をどんどん下りやっとの思いで皆さんの待つPへ到着。そこに



付いた岩を目印にどんどん頂上を目指す。岩場は急であるが何とか一等三角点に着きタッチ、羊蹄山山頂はすぐそこ。着いた、ついに登頂しました。感無量の1898m頂上。記念写真を何枚か撮ってもらい、早々にもと来た登山道を下りあつという間にWさんの待つ中間地点へ。各持

ついで

いたおにぎりパンなどで昼食を済ませ倶知安コースを下ることに。・・合目の看板を9、8・・合目と下り雨が降り始めたので5合目あたりでレインウェア上を着、S氏は傘。足場の悪い泥んこ道をどんどん下りやっとの思いで皆さんの待つPへ到着。そこに



は大感激が待っていました。ずぶ濡れ・膝から下はドロドロの私たち。着替えの荷物を持って着てくれ、さらに地場産の飲むヨーグルト・さくらんぼまで食べられるよう用意されていました。早々車に乗り込むと即飲む・食しました。美味しかった。皆さんの心遣いに感謝、感謝です。

目指す温泉は数年前に潰れていた、ショック。いい温泉だったのと言う声。S氏が近くにいたバスの運転手さんに聞いてくれた温泉に向かうことに。

その温泉できれいさっぱり汗を流し、いい気分でペンション「風」に。

今日無事登頂でき、よかったあ～「ありがとうございました」を胸におやすみなさい。

K・S 記

19日 曇り時々晴れ 小樽市内を観光し、お寿司を食べてお土産を買い苦小牧のホテルへ
ペンション「ふう」8:00＝小樽市内観光(買い物&昼食)9:30/13:30＝ルートインホテル苦小牧 14:30

北海道山行3日目です。今日は、有珠山に登る予定ですが、朝から雨が降っています。



天気予報は、10時頃には雨は上がる予定ですが・・・リーダーより山行条件が悪いため、中止の連絡がありました。ペンションの朝食は、出来立てのアツアツでとても美味しくいただきました。

昨日雨の中、みんな一生懸命頑張ったご褒美で、今日は、小樽にお寿司を食べに行くことになりました。2日間お世話になったペンション「風」を後にし、小樽に向けて出発です。

途中、余市町に向かう道路には、サクランボ直売所が沢山あり、寄ってみました。

みんなで試食し、Seさんが2パック購入し、車内で美

味しくいただきました。が、Suーさんは、数時間後に大変だったようです。みなさん、想像してみてくださいね。

予定通り10時頃、小樽に到着。街は、連休ともあり、大変賑わっていましたが、運よく2台ともパーキングに入庫でき・・・さて散策です。

メルヘン交差点から、小樽運河に向かって堺町通りを流してゆきますが、最初の「ルタオ本店」の試食につられ、皆試食をしまくっています。

私とさんはソフトクリームを食べました。

となりの「北菓楼」にも寄り道し、揚げ煎を試食しまくり、「北一硝子」ではワインの試飲と中々進みません。「イカ太郎」でも出来立ての裂きイカを試食し、昆布専門店の「利尻屋みのや」でも昆布茶やお味噌汁等出されたものは全ていただき、やっとお目当てのお寿司屋さんにとどり着きました。

ところが、人気のお寿司屋さんはすぐには入れません。名前を書いて入口で待たされます。

ところが、人気のお寿司屋さんはすぐには入れません。名前を書いて入口で待たされます。



席に案内され、オーダーしてもすぐには出てきません。じらしにじらされたお寿司は、ことさら美味しく感じられ、これもお店の戦略かな？と考えてしまいました。

お寿司屋さんを出て、小樽運河を散策し来た道の堺町通りに戻ると、急に速足になり一目散に駐車場に向かいました。

みんなお目当てのお菓子やお土産をゲットし、老舗の政寿司でランチをし、今日のお宿苦小牧のルートインに向かいました。

ルートインで最後の晚餐を何処にするかをOさんが考

えてくれ、苫小牧グランドホテル王子にある、中華レストラン「桃苑」を予約してくれました。グランドホテルは苫小牧で一番大きなホテルで、豪華な晩さん会になりました。一流の料理人が丹精込めて調理したお料理はとても美味しく、最後の夜にふさわしい御馳走に感謝です。ホテルに戻り、入浴後9時に男性の部屋に集合し「雷電」スイカをいただきました。冷たく冷えたスイカは、とても甘く美味しかったです。スイカを食べた後は部屋に戻り、明日に備えて床に就きました。ちなみに、今日は、千歳でブルーインパルスのアクロバット飛行が、ある予定でしたが、天候が悪いため中止だったようです。残念でしたね。



F・F 記

20日 曇り時々晴れ 海の駅「ぷらっとみなと市場」で買い物し、千歳空港から羽田空港へ
ホテル 8:00＝海の駅「ぷらっとみなと市場」8:10/8:55＝道の駅「ウトナイ湖」9:20/9:50＝レンタカー10:15
＝千歳空港 10:30/12:00→羽田空港 13:50＝OK パーキング 14:10＝野木町石田宅 16:30

今日は最終日。朝5時に入浴し、6時から我々の部屋で残りの「雷電」スイカを皆でいただく。



風呂上がりのスイカはとても美味しかった。スイカを食べてすぐに、朝食バイキングに向かった。6時30分丁度にレストランに行くが、すでに何人も並んでいた。しばらく待たされ、やっと順番が来て好きなものをお皿に取り分けて行く。テーブルもほぼ埋まっていて、全員が揃って食べることは出来ない。女性と男性に分かれて席に着き、朝食をいただくが女性のおしゃべりが無いとすぐに食べ終わってしまう。部屋に戻って支度をし、車に荷物を積んで出発する。昨日調べておいた、海の駅「ぷらっとみなと市場」へ行きお土産を買う。

市場の中を一回りして、お店をチェックしこごと決めた魚店で値段交渉。大きな発泡スチロールの箱一杯買い、店の人が「飛行機で持ち帰るのは無理だ」と言うのに強引に持ち帰る。青果店では、夕張メロンを買い込む。「誰がこんなに重いものを持つんだ？」と聞くと、「力持ちはあんたしかおらんやろ」と決めつける。買い物を済ませ千歳空港に向かう途中、道の駅「ウトナイ湖」に寄ってみる。道の駅から奥に100mも歩くとウトナイ湖がある。ウトナイ湖は250種以上の鳥類が生息し、1981年日本野鳥の会によって日本初のバードサンクチャリーに指定された。1991年には、日本で4番目のラムサール条約登録の湿地となり、北海道の豊かな自然を満喫できる最高の場所だそうだ。

道の駅の売店に寄り、さらにお土産を買いこむ。ここからニッポンレンタカーまでは10分と掛からない。

車を返却し、千歳空港へ送ってもらう。空港で荷物を預け、さらにお土産を買い昼食を食べる。ラーメンが食べたいと言うので、西山ラーメンの旗が立つ店に入る。ミソラーメンと醤油ラーメンに分かれてオーダーしたがどちらもとても美味しかった。



千歳空港発12:00の便に乗り、羽田空港に13:30着。

重い荷物を受け取り、パーキングからの迎えのバスに乗り込む。

パーキングからの道路も、渋滞が一切なくスムーズに走り石田宅に16:30着。

二日目、三日目は台風の影響を受けたが、ニセコと羊蹄山に登ることが出来Seさんの目標が達成でき、満足の山行でした。